

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます  
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

# 土浦平和の会

ニュースNo.194 2008年5月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

[http://www.geocities.jp/ino011\\_jp/](http://www.geocities.jp/ino011_jp/)

## 08 平和の会総会においでください

と き 5月18日(日) 13:30

ところ 四中地区公民館

講和 中村 恵一さん(予科練甲飛13期出身)

「土浦空甲飛13期100名の魚雷回天搭乗員」

生と死の葛藤 -

## 08年(79回)つくば地区メーデー

快晴の青空のもとで行なわれたつくば地区統一メーデーは45団体1,200人が参加しました。

土浦からも平和の会、年金者組合、新婦人の会、保健生協などの団体や個人20数人が参加して、後期高齢者医療制度中止や憲法九条を守る署名に取り組み、デモ行進の列に加わりました。終了後はそれぞれ持参のおにぎりや赤飯を食べながら歓談しました。



つくば中央公園のメーデー集会

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます  
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

## 原爆症認定集団訴訟

茨城県原爆被爆者協議会 黒川博

被爆者は精神的にも肉体的にも大きな傷を引きずりながら生きてきた。被爆後の急性症状を乗り越え、通常生活に戻ってからも、人に理解される事もない所謂ぶらぶら病や放射能を浴びた様々な傷や病に苦しみながら、ひっそりと生きていた。

しかし1954年 ビキニ水爆実験による第5福竜丸事件後、急速に原水爆反対運動が高まり、被爆者も日本原水爆被害者団体協議会(被団協)が発足し、核廃絶運動を旗頭に、被爆者対策運動を国に働きかけ、被爆者援護法の制定を見た。それにより原爆症認定の申請をしても国の認定基準は厳しく、DS86という単純に爆心地からの距離、約2キロ以内で被爆し、疾病もがん、白血病その他限定されたもので現在25万人被爆者のうち2000名余と1%に満たない人しか認定されていない現状である。その認定申請却下に対し長崎の松谷英子さん、京都の小西健男さんが個人で訴訟を起こし、松谷さんは最高裁、小西さんは高裁までいって2000年相次いで勝訴が確定した。申請してから勝訴確定まで12年から15年を要している。その間東京の東敏男さんが提訴し、高裁までいって勝訴したが、その判決を聞かないままに亡くなっている。国は2000年の敗訴により、DS86に加え、「原因確率」という、負傷又は疾病の種類、被爆時の年齢・性別ごとに作られた表に当てはめて認定する方法に改めた。これは一面以前より厳しくなった面もあった。

そうした現実をふまえ2002年より集団による原爆症認定訴訟となった。結果、3月までに305人が15地方裁判所に提訴し、これまで大阪・広島・名古屋・仙台・東京・熊本の6地裁で6連勝となったが国はこれを不服として控訴し、6高裁で争うこととなった。

こうした結果から、昨夏、安倍前首相が被爆者に認定制度を改めることを約束し厚労省に指示した。これにより厚労省は新基準づくりが始まり、50万人の「原爆症認定制度の抜本改定を求める署名」を携えた日本被団協・原告団・弁護団との何回かの会合、又与党プロジェクトチームの提案があり、それをふまえた上での新基準が4月から実施されることとなった。新基準は被爆者にとって評価出来る分はあるものの我力の要望とは未だかけはなれている面があり、まだまだ戦いは続きそうである。

私たちはこうした問題と共に核廃絶・戦争のない世界平和への運動を強力に進めている。

## 憲法記念日を考える市民のつどい

憲法記念日恒例の 土浦市民のつどいは14回目を迎えた今年ワークヒル土浦で日本平和委員会代表理事の佐藤光雄さんを講師に迎えて「九条は平和のかなめ ストップ海外派兵恒久法 輝かせよう憲法」のテーマでお話を聞きました。 分かりやすく迫力のある話に会場いっぱいの参加者一同引き込まれました。参加者は70数名でした。



コカリナの演奏で始まったつどい

### 活動ごよみ

5・1 つくばメーデー(つくば中央公園)	5・18 第1回理事会(四中地区公民館)
5・3 憲法記念日集会(ワークヒル土浦)	5・24 県平和委大会(青少年会館)
5・18 土浦平和の会総会(四中地区公民館)	6・8 六ヶ所村ラプソデー(県南生涯学習セ)

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122  
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください